

進路ジャーナル



青森県立森田養護学校
進路指導部 No.12-1
発行日 R7. 12 5.

保護者事業所見学会について



11月11日(火)、保護者のみなさんを対象とした事業所見学会を開催しました。今年度は、五所川原市(金木地区)にある、B型事業所二カ所と、つがる市(森田地区)にある、入所施設一カ所を見学しました。



一カ所目は、今年5月1日に開所となった「就労継続支援B型事業所Lea lea」です。

現在は、五所川原市金木町喜良市千苅にある、廃校となった喜良市小学校の建物を活用して作業に取り組んでいます。

保護者のみなさんには、中に入ると、当時の学校の表示などを見て「懐かしい!」「こんなのがあったよね~」と言いながら、廃校となった校舎を活用してきのこを栽培している作業を見学しました。残念ながら、当日は利用者の方がいらっしゃらなかったのですが、元教室で育っている「なめこ」や「しいたけ」に驚きの声を上げながら見学していました。



二カ所目は、芦野公園の裏手にある「就労継続支援B型事業所夢の森ラッキー」を見学しました。

こちらの事業所では、2年前の卒業生が頑張っています。見学した際にも、ホタテ貝の選別作業や卵の洗浄など、休みなく働いていました。



近年、作業の中心は「農福連携」で、農家さんの畠へ行って作業をすることが増えているとのことでしたが、ほかに、ホタテ貝に穴を空けてひもを通して、“貝の赤ちゃんベッド（養殖棚）”作りや、鶏卵、クリーニング作業などを行っています。特にクリーニング作業は人気があるとのことで、ローテーションを組んで作業を行っているそうです。

夢の森ラッキーでは、グループホームや自立支援ホーム（アパート暮らしをするためのステップアップをする）、生活介護事業所などもあるとのことでした。また、中泊町にも就労継続支援B型事業所があり、同様の作業に取り組んでいます。「次は、生活介護やグループホームも見学してみたい」と保護者さんからの希望も出ていました。



昼食は、つがる市（木造地区）にあるCafe NoMAへ行きました。注文していたハンバーグやパスタの他にも、ピザやデザートなど気になるメニューがたくさんあり、追加で注文された方もいらっしゃいました。昼食を食べながら、進路に関する素朴な疑問や情報交換をする貴重な時間となりました。（保護者の皆様のおかげで、店内はとても楽しい雰囲気でいっぱいでした♪ありがとうございます。）

午後は、月見野園を見学しました。学校のすぐ近くにある事業所ですが、普段は外からしか見る機会がありません。中へ入るとステージがあり、鑑賞会などができる広いホールがありました。天井も高く、とても開放感があります。



建物内は、ホールを中心にして男性棟と女性棟が分かれて設置されていました。さらに、それぞれの棟に食事をするスペースや居室、日中の活動場所が作られています。

現在、入所事業の空きはない状況ですが、ショートステイ利用者のための部屋も用意されており、見学させていただきました。また、日中活動の様子も見学させていただきました。入所されている方の中には、他の事業所へ通所されている方もいらっしゃることでしたが、それぞれの状況に応じて、活動場所を分け、必要に応じてマンツーマンでの対応もされていました。

今回の事業所見学会にご協力いただいた、事業所の皆様、本当にありがとうございました。次年度も保護者事業所見学会を開催したいと思っておりますので、ぜひご参加ください。

